

株式会社 大建 (学術研究・専門/技術サービス業) の取組み事例: 業務の標準化を前提としたDX人材の育成及び業務効率化

パターン② -データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業	社名	株式会社 大建
	業種	学術研究・専門/技術サービス業
	事業概要	補償コンサルタント 建設コンサルタント 宅地建物取引業
	所在地 (都道府県)	福岡県福岡市早良区
	提供データ 種類	Excel・PowerPoint
 参加した 受講生 の概要  チーム鯖	チーム名	チーム鯖
	チーム人数	4人 (アンセム、がわち、ランB、M.k)
	スキル・PR	出身地や職業といったバックグラウンド が異なるメンバーで構成されていること から、多様な視点で議論できます
	進める中で 工夫したこと	企業MTG前には必ずチーム MTGを行い、方向性の確認を 怠らない

実施概要

課題内容

人財育成

- 一貫した社員の育成方針が定まっておらず、そのため業務の進め方も統一されていない

業務効率化

- 補償コンサルにおける現地調査－図面作成－算定フローにおいて、デジタル技術を用いて人的ミスの削減及び業務の効率化を検討したい



実施した検討内容

人財育成

- 業務の標準化を前提に、既存システムの有効活用や社内表彰制度等を検討

業務効率化

- ベテラン社員のノウハウを生かせる環境の構築及び屋内作業の高度化・効率化を検討



検討の成果

業務の標準化を前提としたDX人材の育成及び業務効率化

- 企業の持つ課題解決に向けて、8つの施策を提案
(詳細は別添の提案書参照のこと)
- 新たな技術を導入することで業務効率化を達成するとともに、ベテラン社員のノウハウを有効活用しつつ全社員の能力開発及び育成を可能にすると評価